

迎春

新春のお喜びを申し上げます。
市民の皆さまには、良き新年をお迎えのことと存じます。

今年、香南市は市制10周年を迎えます。この間、5つのまちの特徴を保ちつつ、新たな発見や気づきを繰り返しながら、ゆつくり、じつくりと香南市というまちをつくらせてきたように思います。そして、市では今後の人口減少という大きな課題への取り組みとともに、産業振興計画、人生支援計画など、新たな飛躍に向けたさまざまな事業を計画し、今、それらが芽を出そうとしています。

今後香南市の新たなステージへ向けて市民の皆さまとしっかりスクラムを組み、一步一步確実に進めてまいりたいと思っておりますので、皆さまの更なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして素晴らしい年でありませう、心よりご祈念申し上げます。



香南市長
清藤真司



新年、明けましておめでとうございます。本年も皆様のますますのご多幸とご繁栄をお祈り致します。

旧年中の国際情勢はテロや民族紛争など不穏なことが目に入っていました。それでも最近の高知県の政治経済の状況は少しずつ落ち着きを取り戻しているような感じがします。平和で安心して暮らせる地域社会であってほしいとの思いを込め、今年は、争いも災害もなく、人口の減少に歯止めがかかり地域経済が回復し、再び地方都市が活力を取り戻す時代になりませう、願っております。

この願いが叶うよう、皆様の暮らしを守り育むためのまちづくりを職員一同と心を一にして進めると共に、香南市がいつまでも元気な街であり続けるための仕組みづくりも、皆様と共に精一杯取り組んでまいります。本年もどうかよろしくご祈念申し上げます。

香南市副市長
野中明和



明けましておめでとうございます。

決意新たに新年をお迎えのことと存じます。今年「香南市教育振興基本計画」の中間見直しの年です。昨年誕生しました「生涯学習推進計画」や、市で作成中の「人生支援計画」とも合わせ、「子どもに夢・青年に希望・高齢者に生きがい」を実感していただける取り組みを推進したいと思っております。

人の考え方や働き方が大きく変わり、教育制度や方法も改革の必要に迫られています。変わらないものは何か？それは「子どもは宝」だということです。文科省が募集した三行詩の中で次の二編が目にとまりました。

◇遅咲きと信じてくれる 親がいる(小学6年)
「失敗してもいい。それは行き止まりじゃないから」と温かく育てていきましょう。そのためには保幼小中・家庭・地域の連携が必須です。

◇家庭菜園 似てます何故かうちの子に 不揃いだけ味がある(一般)
本年もご理解・ご協力を宜しくご祈念申し上げます。



香南市教育長
安岡多實男



11月22日(日)のいちふれあいセンターで、「第10回香南ふれあい祭り」が開催されました。当日は、市内からさまざまな団体が参加し、健康や環境、防災などを学んだり、ヨガや茶道などに親しんだりした1日となりました。

また、同時開催された「香南市人権啓発フェスティバル」では、人権啓発パレードを皮切りに、人権作品の表彰と作文の発表、映画上映などを行いました。



自転車をこいで発電。こげがこげだけテーブルの電球が灯ります。がんばれ！



がきん...



大鍋パエリアでチャリティー。集まった募金は愛童園に寄付されました。

「平和と人権」

～三線にのせて届け沖縄のおもい～
講師/屋嘉比健作さん



香南市の姉妹都市である沖縄県八重瀬町職員の屋嘉比さん。沖縄の文化や戦争の歴史、平和に対する思いを、民族楽器である三線にのせて、唄や語りで伝えてくれました。

また、同町職員の金城恭平さんは、エイサーや棒術などを披露してくれました。



香南市 人権啓発 フェスティバル

「深刻化するネットいじめ」

～その現状と大人の役割～ 講師/渡辺真由子さん

メディアジャーナリスト 兼慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員の渡辺さん。身近にあるインターネットでのいじめについて講演していただきました。

インターネットを正しく活用するためには、情報ネットワークを正しく理解し、利用する能力であるネットリテラシーを身につけることや、インターネットでのいじめをなくしていくために必要なことなど、今後私たちがインターネットを利用していくうえで大切なことについて講演していただきました。



第10回 香南ふれあい祭り



人権講演